慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	Guide for authors
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應SFC学会
Publication year	2023
Jtitle	Keio SFC journal Vol.23, No.1 (2023.) ,p.108- 117
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11671240-00230001-0108

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Guide for Authors

■慶應 SFC 学会について

慶應 SFC 学会は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（以下、SFC）の総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科の研究・教育活動を促進し、学外との交流を深めることを目的とした組織です。

当学会は、研究・教育活動の成果を発表する各種出版物の刊行のほか、シンポジウムや学術交流大会の開催等の活動を通じ、SFC の研究・教育活動の支援をしています。

また、SFC における学術研究の成果を発表する学術論文誌『KEIO SFC JOURNAL』の発行のほかに、SFC のキャンパス紹介をはじめ、教員・学生の最新の活動内容を掲載し、SFC キャンパスの広報の役割を担っている『KEIO SFC REVIEW』を発行しています。

さらに、会員が企画・主催する「研究助成金」などの支援を行い、会員の研究発表や研究ネットワークの場を確保し、それらの支援を積極的に行っています。ほかには SFC における様々な活動を後世に伝えるためのアーカイブ作成などの活動も行っています。

■会員の構成

本会の会員は原則として 3 学部・2 研究科の正会員・準会員・学生会員により構成されています。（以下、慶應 SFC 学会会則一部抜粋）

第３条　本会には正会員、準会員、学生会員、名誉会員を置く。

2　正会員は、原則として湘南藤沢３学部および２研究科の専任教員とする。ただし、理事会は、専任に準ずる有期の教員を正会員とすることもできる。

3　理事会は、湘南藤沢キャンパスを卒業あるいは修了した者および退職した教員で、その後本人の希望により資格申請した者を準会員とすることができる。また、理事会は、湘南藤沢キャンパスコミュニティで活動している特任教員、非常勤教員、SFC 研究所上席所員、SFC 研究所所員ならびに SFC に勤務する職員で、本人の希望により資格申請した者を、準会員とすることもできる。

4　学生会員は、湘南藤沢キャンパスに在籍する学部生ならびに研究科の学生とする。ただし、理事会は、研究科の特別学生を、学生会員とすることができる。

5　理事会は、湘南藤沢キャンパスを定年退職した教員を、名誉会員とすることができる。

■投稿規程

慶應 SFC 学会では、湘南藤沢キャンパス（以下、SFC）における学術研究の成果を発表する査読付学術論文誌『KEIO SFC JOURNAL』を年 2 回刊行しております。毎号の特集テーマ以外に、自由論題への投稿も随時受け付けております。

使用言語は原則として日本語または英語とし、必要に応じてそれ以外の言語での投稿も認めます。

投稿される原稿は、未投稿のものとし、他雑誌への並行投稿や二重投稿は認められません。

1．原稿の種類、内容

以下、a から f のいずれかから、最適と思われる原稿種類を選んでご執筆ください。

a) 研究論文 : 実証的または理論的研究の成果として、オリジナリティを有するもの
b) 総説・レビュー論文 : そのトピックに関する重要かつ適切な複数の既存文献に基づいて総合的な評価をしたり、過去の経緯、文献間の比較、評価などを総合的に論じ、著者のオリジナルな考えや見方を提示するもの
c) 実践報告 : 新規性のある取り組み、フィールドでの実践などを報告するもの。より広い分野での実践やスケールアップ、政策見直し等への含意を有するものが望ましい
d) 研究ノート : 研究の中間的な報告や予察的な研究報告を行うもの
e) 書評 : 書籍等の文献の批判や紹介をするもの
f) 学会動向 : 研究展望について解説するもの

各原稿の制限文字数および詳細は、執筆要領をご参照ください。

2．原稿締切および提出方法

原稿締切：自由論題は随時受け付けます。特集論文は 11 月末と 5 月末を予定しています。
各号の特集論文の締め切りは SFC JOURNAL ウェブサイトに掲載してあります。URL：https://gakkai.sfc.keio.ac.jp/journal/offer/jp/

提出方法：原稿は、「表紙〈抄録含む〉、本文、図表」の順に MS-Word ソフトで作成し、ひとつのファイルにまとめて電子ファイルとハードコピーの両方を提出してください。

・電子ファイルの提出方法：E-Mail：gakkai@sfc.keio.ac.jp（慶應 SFC 学会事務局）宛に「原稿 (MS-Word ファイルと PDF ファイル)」と「記載事項記入用紙」を上記アドレスまで送付してください。なお、PDF ファイルは著者名、所属名、職位、謝辞を記載していない原稿をご用意ください。）
・ハードコピーの提出方法：大学院棟 1 F（タウ 14）、慶應 SFC 学会事務局に 1 部ご提出ください。サイズは A4 判、著者名、所属名、職位、謝辞を記載していない原稿をご用意ください。

・採択された場合、図や表は別途オリジナルデータでご提出を求めることがあります（作図については執筆要領 5 を参照のこと）。

※記載事項用紙はこちらからダウンロードできます。
URL：https://gakkai.sfc.keio.ac.jp/journal/offer/jp/

３．投稿資格

筆頭著者となる資格を有するものは、以下のとおりです。

・ 慶應 SFC 学会正会員
総合政策学部・環境情報学部・政策・メディア研究科の教授・准教授・専任講師、看護医療学部、健康マネジメント研究科の教授・准教授・専任講師・助教（有期）※
※看護医療学部の助教（有期）の方は、全員学会へ入会されており、学会費の徴収も専任教員（教授・准教授・専任講師）同様に手続きをしております。
※総合政策学部・環境情報学部・政策・メディア研究科の有期契約教員（客員教員・特別招聘教員・教員（有期）・訪問教員（招聘）・講師（非常勤）・特任教員）、チェアシップ教授の方は、学会費を納めて学会にご入会いただくか、投稿料をお支払いいただく必要があります。あらかじめご了承ください。

・ 湘南藤沢キャンパスに在籍する学部生ならびに研究科の学生
SFC を卒業・修了した者も、SFC 在籍中の成果を含む論文である場合、筆頭著者として認められます。

・ その他
学会員として学会費を納めた者、編集委員会が執筆を依頼した者、投稿料を納めた者（学会員でない場合も SFC に在籍する場合は、掲載決定時に 1 報あたり 3000 円を投稿料として支払う前提で投稿が認められます）、など。

４．査読者の推挙のお願い

投稿者は、審査する上で相応しいと考えられる査読者を 2 名推挙することができます。編集者は推挙された候補から査読者を選ぶとは限りませんが、内容が学際的な要素の高い研究分野である場合には、査読候補者の推挙によって編集者のレビュープロセスが迅速化すると予想されます。ただし、査読候補者として SFC の教員は含めないで下さい。また、投稿者と密接な関係がある人物、利益相反の関係にある人も選択することはできません。例えば、投稿者や共著者と同じ研究グループに所属する人物、投稿した研究が含まれるプロジェクトを監督する立場に相当する人物、等がそれにあたります。

推挙する際には、各査読候補者について、次の情報を「記載事項記入用紙」に必ず記入して下さい。

氏名
所属
身分
連絡のとれるメールアドレス
推挙する理由

5．査読プロセス

『KEIO SFC JOURNAL』はピアレビュー・ジャーナルです。査読は著者の氏名および所属を伏せた上で行われ、査読審査を経て受理されると掲載となります。
原稿の種類は、研究論文、総説･レビュー論文、実践報告、研究ノート、書評、学会動向があり、それぞれの査読プロセスは以下の通りです。

「研究論文」「総説・レビュー論文」「実践報告」
原則として 1 名の内部査読者（筆頭）と 2 名の外部査読者の 3 名で査読を行います。
なお、審査を経て採録となった「研究論文」は、政策・メディア研究科博士課程学位取得の要件（査読付論文）として申請できます。

「研究ノート」
原則として 1 名の内部査読者（筆頭）と 1 名の外部査読者の 2 名で査読を行います。

「書評」「学会動向」
1 名の内部査読者で査読を行います。

6．査読結果の通知

査読結果（第一次判定）は、投稿から 1 ～ 3 ヶ月程度（査読状況によって異なる）で本人に通知します。査読結果は､「A：採録（Accept）」「B：条件付採録（Accept with minor revision）」「C：修正再査読（Revise and resubmit）」「D：不採録（Reject）」のいずれかで、結果は査読者のコメントとともに返送されます。必要な修正をして再投稿された原稿は、再査読を行い、第二次判定を本人に通知します。

7．著作権（「KEIO SFC JOURNAL」刊行規程 [著作権] 第 5 条より抜粋）

(1) 著者は慶應 SFC 学会（以下「学会」）が発行する「KEIO SFC JOURNAL」に掲載された論文等の著作権を学会に委託し、学会が論文等の編集著作権および出版権を保有する。
(2) (1) に基づき、学会は著者の論文等を原文のままの形において印刷物または電子媒体により再出版または再配布する権利を保有する。なお、電子媒体による再配布とは、慶應 SFC 学会ホームページならびに慶應義塾大学の運用する Web サイトやデータベースへも登録し、公開すること等を意味する。
(3) 著者は、論文等を他の印刷物または電子媒体に転載する場合は、学会にその旨、通知する。
(4) 著者の論文等を要約して印刷物または電子媒体により再出版または再配布する場合は、原則として学会は著者から事前の同意を得るものとする。
※刊行規程第 5 条により、採録原稿は慶應 SFC 学会ホームページならびに慶應義塾大学の運用する Web サイトやデータベースへも登録し公開いたします。

8．研究倫理

人を対象とした実験・調査については、生命倫理、プライバシー保護、人権保護等の面で必要な倫理的考慮を確保している必要があり、こうした研

究を研究論文として投稿する場合、原則として筆頭著者の所属先の倫理委員会の承認を得ているものとします。ただし、実践報告についてはこの限りではありません。

< 参考 >

SFC 実験・調査倫理委員会

URL：https://www.sfc.keio.ac.jp/faculty/personnel_general/ethical_committee.html

健康マネジメント研究科の研究倫理審査について

URL：https://www.students.keio.ac.jp/sfc/gshm/procedure/research-ethic/

９．その他・注意事項

投稿原稿には、著者名、所属機関名、および著者が推測されるような内容（謝辞、科研費をはじめとする助成金の情報など）は書かないでください。「拙著」「筆者は XXX(1997) において…」等のような表現の使用も避けてください。これらの情報は、査読を経た上で採録が決定した段階で記載していただきます。

『KEIO SFC JOURNAL』は A5 判・モノクロです。図・表は A5 判の半分もしくは全ページを占めることを前提に、縮小率ならびにモノクロでの見栄えを十分に考慮した上で作成してください。

■執筆要領

原稿を投稿される方は、本執筆要領に従い、ご執筆ください。

1．使用言語

使用言語は原則として日本語または英語とし、必要に応じてそれ以外の言語での投稿も認めます。

2．原稿の種類と制限文字数

SFC ジャーナルは日本語と英語が混在する雑誌であるため、空白も含めた英文字数 (letters) に換算した文字数制限を設けています。主に日本語で書かれた領域については、日本語の文字数を 2.5 倍に換算してください (日本語 12,000 文字ならば 30,000 letters に換算)。

研究論文、総説・レビュー論文、実践報告は最大 50,000 letters、研究ノートは最大 30,000 letters、書評、学会動向は最大 15,000 letters とします。これらの文字数には本文、図表、脚注、引用文献を含みます。

図・表は原則として、A5 判の半分もしくは全ページを占めるものとして想定して作成し、前者 (小サイズ) の場合は 1,250 letters、後者 (大サイズ) の場合は 2,500 letters 分のスペースとして換算してください。

例えば、日本語で書かれた領域が 12,000 字、英語で書かれた領域 (要旨と参考文献など) が 7,000 letters、小サイズの図が 5 枚ある研究論文の場合は、以下のように換算されます。

$$12{,}000 \times 2.5 + 7{,}000 + 1{,}250 \times 5 = 43{,}250 \text{ letters}$$

合計が 50,000 letters を上回っていないので、この場合は文字数制限の対象にはなりません。

原稿の種類、内容、および制限 letter 数は、表 1 の通りです。制限 letter 数には図表、脚注、引用文献等を全て含みます。

表 1　原稿の種類と制限文字数

種類	内容	制限 letter 数※ (日本語文字数)
a) 研究論文	実証的または理論的研究の成果として、オリジナリティを有するもの。	50,000 (20,000)
b) 総説・ レビュー論文	そのトピックに関する重要かつ適切な複数の既存文献に基づいて総合的な評価をしたり、過去の経緯、文献間の比較、評価などを総合的に論じ、著者のオリジナルな考えや見方を提示するもの。	50,000 (20,000)

c) 実践報告	新規性のある取り組み、フィールドでの実践などを報告するものである。より広い分野での実践やスケールアップ、政策見直し等への含意を有するものが望ましい。	50,000 (20,000)
d) 研究ノート	研究の中間的な報告や予察的な研究報告を行うもの。	30,000 (12,000)
e) 書評	書籍等の文献の批判や紹介をするもの。	15,000 (6,000)
f) 学会動向	研究展望について解説するもの。	15,000 (6,000)

※ letter 数には、本文、図表、脚注、引用文献等を含みます。引用文献の上限は 50 件とします。
ただし、レビュー論文の場合はこの限りではありません。

3．基本構成

原稿は次の順に作成し、表紙から文献まで通しページ番号を下中央に、および通し行番号を左側につけてください。ページ番号および行番号の追加は MS-Word 等の機能を使ってください。行番号は MS-Word の場合、「ページレイアウト」もしくは「レイアウト」のタブより「行番号」を選択し、表示されるリボンの中から「連続番号」を選択することで表示できます。(MS-Word のバージョンにより方式が異なることもあります)。

1 ページ目 (表紙)

- **原稿の種類**：a) 研究論文、b) 総説・レビュー論文、c) 実践報告、d) 研究ノート、e) 書評、f) 学会動向より選択してください。
- **タイトル**：タイトルは簡潔に内容を表すものにしてください。日本語と英語の両方とも記載してください。ただし本文が英語以外のときは、本文使用言語、日本語および英語タイトルを記載してください。
- **著者名**：電子ファイルで提出する MS-Word ファイル原稿では、著者全員の氏名、所属機関、職位を日本語および英語で記載してください。PDF ファイルならびに別途、ハードコピーで提出する原稿については、著者名、所属名、職位、謝辞を含まないものにしてください。
- **抄録**：日本語 250 字以内と英語 625 letter 以内の 2 種類を掲載するため、両方を記載してください。英語は必ず英文校正業者か英語が母国語の専門家による校閲を受けてください。
- **キーワード**：日本語と英語のそれぞれについて 3 から 5 個を記載してください。

2 ページ目以降 (本文)

- 本文中で著者が推測されるような表現は避けてください。
- 本文例

1) **緒言** (はじめに、など)：背景と目的を記述してください。
2) **方法**：研究対象や方法などを具体的に記述してください。
3) **結果**：研究結果は、図や表を用いて記述してください。

4) 考察：結果と過去の文献等を参考にして導かれる考えや論理を記述してください。
5) 結論（おわりに、など）：研究結果から導かれるものを記述してください。
※各項目の小節は、3.1、3.2、小節内の項は、3.1.1、3.1.2 のように記してください。
※研究論文の場合のあくまで一例であり、この限りではありません。

- 謝辞は必要最小限の範囲で記載してください。
- 研究助成の有無および利益相反の開示について、投稿論文では、著者はその研究にバイアスをもたらす可能性のある全ての利害関係（金銭的・個人的関係）を開示することが求められています。利益相反に該当しない場合はその旨を記載してください。（例：利益相反に該当する事項はない）
- 脚注がある場合のみ、以下 6 に示す方法で、文末に本文中の番号と呼応する形で入れてください。
- 引用文献は以下 7 に示す方法で記載してください。

なお、上記原稿に加えて、別添の用紙「KEIO SFC JOURNAL 記載事項記入用紙」にも必要事項をご記入の上、必ず原稿とともにお送りください。
※記載事項用紙→ダウンロードできます。
URL：https://gakkai.sfc.keio.ac.jp/journal/offer/jp/

4．使用文字・フォント

・フォントは日本語の場合は明朝体 12pt（英数字については Times New Roman 12pt）とします。英語の場合は Century 12pt、あるいは Times New Roman 12pt を利用してください。
・句読点は、日本語は原則として「、」「。」を使用し、数学記号が多い論文および外国語は「,」「.」を使用してください。
・新字、新カナを使用してください。本誌はヨコ組みのため、句読点、カッコ、コロンなどはヨコ組の表記になります。
・数字は、半角アラビア数字を使用してください。

5．図表の表記

・図については図番号とタイトルを図の下に、表については表番号とタイトルを表の上に記載してください。
例：日本語の場合「図 1　○○○○」「表 1　○○○○」
英語の場合　「Fig. 1　○○○○」「Table 1　○○○○」
・図表を他文献から引用または転用する場合は、必ず出所を明確に示すこと。
記載例：「渡邉 (2002) p.76 図 8 より転用」

（以下は採録が決定した場合に、提出を求めます）
①写真：デジタルカメラで撮影したものであれば、解像度 350 dpi 以上のオリジナル写真データを標準的な画像フォーマット（JPEG）のファイルとして、またアナログ写真で撮影されたものであれば、紙焼きの形でご用意ください。
②線画：線画を作画したオリジナルの CG ソフト（AI, PPT 等）から直接 EPS ファイルに変換したファイルをご用意ください。

③表：スキャン画像ではなく、作表した際に使用したソフト（Excel 等）のファイル形式でご用意ください。

６．注

本文該当箇所に上付きで、1)、2)、3) と注番号を付け、本文の最後に通しで記述してください。

７．文献の引用方法・文献リスト

文献引用の方法および文献リストの表記方法は、以下のようにしてください。

■文中での文献引用の方法

直接引用する場合は、句読点を含めて一字一句正確に書き写し、引用部分がわかるようにしてください。

例）佐藤 (2001) は、「・・・・・である」（佐藤 2001、p. 25）と述べている。

同じ著者の同一年の文献を複数引用するときは、発行年にアルファベットを付けてください。

例）藤沢 (2010b) によれば……

外国語論文から引用する場合は、アルファベット標記のままにしてください。

例）単著なら　(Fukuzawa, 2004)
例）二人の共著なら　(Fukuzawa and Fujisawa, 2018)
例）三人以上なら　(Fukuzawa et al., 2018)

既に日本語訳されている文章からの引用の場合、外国人名は、以下の方式で表記してください。

例）カタカナ表記名　J. ピアジェ（J. Piaget）（括弧内は表記可能な場合）
例）漢字表記名　毛沢東

特に人文科学や社会科学系の論文においては、学術上、論文の展開上重要と思われる人名は、原則としてカタカナと原語での並列表記となりますが、すでに一般的となっている人名、あるいは論文の展開上特に重要ではない人名については、併記は不要です。

■文末の引用文献リストの書き方

日本語文献は著者名で五十音順に、外国語文献は著者名（苗字）でアルファベット順に掲載します。各文献ごとの表示方法を以下に記しますので、必要項目を順番どおりに並べて入稿してください。共著者の記載は、最大 5 人までの範囲で任意とし、6 人以上の場合は「ほか」「et al.」などで省略してください。

①論文雑誌

日本語は、著者名（発行年）「論文タイトル」『ジャーナル名』巻（号），掲載ページ数、の順番、外国語も順序は同様ですが、表記については論文タイトルのカギ括弧（「 」）をダブルコーテーション（“ ”）に、ジャーナル名は括弧で囲まずにイタリックで表記してください。記載例は以下に示します。

a) 日本語論文の記載例

秋山美紀、武林亨（2013）「在宅医療の担い手としての診療所機能の現状と効率的な療養支援のための地域連携の課題」『医療と社会』23(1), pp. 3-11.

b) 外国語論文の記載例

Kuroda, H., Inui, M., Sugimoto, K., Hayata, T., Asashima, M. (2002) “Axial protocadherin is a mediator of prenotochord cell sorting in Xenopus”, *Developmental Biology*. 244(2), pp. 267-77.

②書籍

a) 日本語図書の記載例

清水唯一朗（2013）『近代日本の官僚― 維新官僚から学歴エリートへ』中央公論新社 .

山本龍彦、清水唯一朗、出口雄一編（2016）『憲法判例からみる日本』日本評論社 .

b) 日本語図書の分担執筆章（または部分）の記載例

中澤仁（2016）「プラットフォーム設計の思想」村井純監修『価値創造の健康情報プラットフォーム』慶應義塾大学出版会 ., pp. 65-94.

c) 外国語図書の記載例

Shiratori, R., Arai, K., and Kato, F. (Eds.) (2004) *Gaming, simulations, and society: Research scope and perspective*, Springer-Verlag.

d) 訳書の場合

グリーン , L. W.,　クロイター , M. W.　神馬征峰訳（2005）『実践ヘルスプロモーション - PRECEDE - PROCEED モデルによる企画と評価』医学書院 ., pp. 10-18.

注）引用時に同じ著者の同一年の文献を複数引用した場合は、年号の後に引用時に用いたアルファベットと同じものを記載してください。
　例）(2004a) (2004b) (2004c)

③ウェブサイト等からの引用

ホームページ、インターネットウェブサイトからの引用については引用内容が明確に記載されている URL を示し、アクセスした年月日を括弧内に記載してください。書籍とウェブサイト双方に同一の引用文献がある場合は、書籍を優先引用文献としてください。

a) 掲載文書発行年がわかる場合の記載例

厚生労働省（2008）「主な施設基準の届出状況等について」http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/07/dl/s0716-3c.pdf（2009 年 2 月 20 日アクセス）

b) 掲載年が不明な場合の記載例

厚生労働省「健康日本 21（第二次）」http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kenkounippon21/kenkounippon21（2017 年 12 月 1 日アクセス）